

真 総 279 号
平成20年10月 9日

国土交通省道路局長 様

北海道虻田郡
真狩村長 佐々木 和 見



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道 真狩村

「道路特定財源等に関する基本方針」が閣議決定され、その考え、方向性については理解できるものであるが、その中で国・地方がおかれている財政難は大変厳しく、緊急かつ必要性に応じて予算を確保することが重要と考えております。

そして、事業の実施に向けては、効果・効率性、費用対効果が求められることは言うまでもありません。

しかし、過疎化、少子・高齢化に悩む地方に住む者にとっては、費用対効果について問われることが、大きな難題としてあげられます。

広大な面積をもつ北海道において、住む人は点在しており、それぞれがそこを基盤として生活しております。特に、道路においては、生活、経済に及ぼす影響は多大と考えており、事業計画を策定の折には、是非、この点を考慮下さる様、お願い申し上げます。

○ 現状

本村は、農業を基盤産業とする純農村地帯で、馬鈴薯、大根、人参、食用ユリ根、ユリ切花などを特産品としております。

近年、特産品を活用し、「食と農業」の連携を図り、観光の推進を取り進めておりますが、過疎化、少子・高齢化の進行とともに、対策が迫られており、新たな産業、企業誘致、定住促進などの新たな村づくりへの対応策を模索しております。

○課題

道路交通網の整備、とりわけ高規格幹線道路の整備は、生鮮野菜、切花などを主生産している本村産業においては、重要な位置づけであります。

さらに、高齢化が進んでいる現状の中では、迅速な救急輸送体制の充実は必要であり、特に第3次救急医療機関のない本地域にとって、輸送時間の短縮は、切実な課題であります。

また、観光を進める上で、周遊時間の短縮は重要な案件である。特に本地域は外国からの観光客が増加しており、空港からの移動時間の短縮は、国内外に問わず、観光客の大幅な増加につながる大きな要素になると思われます。

同時に、新たな産業、企業誘致を進めるためには、必要な条件になると思われます。

本地域の役割としては、地域の特性を活かした「食と観光」を重点に促進していくべきと考えております。

「安全で安心、信用できる食料」の提供をはじめ、食料基地として、とりわけ自給率の向上を担うべく、農業の振興、そしてそれを活用した「食と農業」との連携による新たな産業を推進していくことが重要なことと思われます。

さらに、それだけではなく、地方がもっている自然や環境などの特性を取り合わせた「食と農業と観光」を地域の町村が連携する中、取り組んでいくことが必要であると思われます。

そして、それを国内だけではなく、海外へも発信していくことが、地域の発展への足がかりになると思われます。

現在、一極集中化により都市と地方の格差が広がり、地方においては過疎化、少子・高齢化が進行しており、このままではさらに格差は広がってまいります。

現状においては非現実なものと認識しつつも、地方への分散を強く切望するところではありますが、これら格差の解消に向けては、当然、地方の頑張りが必要とは思いますが、都市と地方との距離を縮めることも必要と思われます。

今やインターネット等の発展により情報アクセスは、都会と地方の距離は縮まっておりますが、交通アクセスはまだまだ距離があり、特に北海道においては十分とはいえません。

これら将来の地方を考えると、道路交通網の整備は必要不可欠な重要な案件として考えております。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道 真狩村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・国際競争力の強化のための交通サービスの向上	① 北海道横断自動車道(黒松内～小樽間)の整備	・観光客の周遊時間の短縮による増加 ・救急車の輸送時間の短縮 ・農水産物の迅速輸送 ・災害時における避難道路の確保	